

資料番号	J. I-1	資料名	朝鮮国書
------	--------	-----	------



・国書(1607年) 紙本墨書〔縦×横〕 60.3×93.8cm ・別幅(1607年) 紙本墨書〔縦×横〕 51.7×145.3cm

徳川将軍秀忠が1607年の朝鮮通信使から接受した国書及び別幅(進物目録)、並びに1617年の朝鮮通信使から接受した国書の3点である。

これらは朝鮮通信使が持参した朝鮮国書を対馬藩が改作したものであるが、これを秀忠が接受したことで、日朝間の国交が回復した。

断絶していた両国間の国交が特異な形で再開されたことを示す貴重な資料である。

資料番号	J. I-2	資料名	朝鮮国書
------	--------	-----	------



・国書(1643年) 紙本墨書〔縦×横〕 51.4×134.2cm ・別幅(1643年) 紙本墨書〔縦×横〕 51.7×145.3cm

徳川将軍が朝鮮通信使から接受した朝鮮国書群であり、国書と別幅からなる。

京都大学所蔵の1617年使行時の国書と対をなす別幅、1643年及び1655年使行時の国書及び別幅、1682年使行時の別幅、1711年使行時の国書、1719年使行時の国書及び別幅、1747～48年及び1763～64年使行時の国書及び別幅、1811年使行時の別幅があり、合計で国書は6通、別幅は9通、別幅のうち2通は将軍世子へのものである。

国書の授受は国家間外交の象徴的な行為であり、文面には「誠信交隣」の精神が満ち溢れている。朝鮮通信使を介した日朝外交の平和的な展開を伝えるうえで重要。